

令和8年6月19日

各 位

公益財団法人 本多記念会
理事長 前田 正史

第68回（令和9年度）本多記念賞受賞候補者の推薦依頼について

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当財団はお陰をもちまして多方面のご協力とご援助により順調な進展を遂げ、創立69年目を迎えることができましたこと深く感謝申し上げます。

さて、当財団は、故本多光太郎先生の偉業を永く記念して、金属及びその周辺材料に関する学術の振興に寄与する目的で、学界、産業界等の分野で輝かしい貢献をされた方に「本多記念賞」を贈り、その功績を表彰してまいりました。

つきましては、第68回（令和9年度）の本多記念賞受賞候補者を募集いたしますので、「募集要項」によりご推薦いただきたく、ご依頼申し上げます。

なお、貴関係機関に対しましても、周知方よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1 送付書類

第68回（令和9年度）本多記念賞受賞候補者推薦書用紙（3枚綴） 1通

2 推薦締切期限

令和8年9月4日（金）厳守

3 推薦・応募書類の提出先（当財団事務局）

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1

東北大学金属材料研究所内

公益財団法人 本多記念会

（電話）022-215-2868

4 お問い合わせ先

ご不明の点がございましたら上記事務局にご照会ください。（月～金曜 9～17時）

本多記念賞受賞候補者募集要項

本多記念賞受賞候補者の募集は、本多記念賞規程に基づき、この要項により実施する。

1 賞の目的及び対象

わが国に国籍を有する者で、理工学、特に金属およびその周辺材料に関連する研究を行い、基礎または応用面において優れた成果を挙げ、科学文化の進展に卓抜な貢献をした者を対象とする。

なお、団体は受賞対象としない。

2 本賞と副賞

本賞：金メダル、副賞：200万円（毎年1件を予定）

3 推薦者

理工系の大学、国公立研究機関、学会、関連の企業および当記念会の委嘱する個人。ただし、同一推薦者による推薦件数は1件に限るものとする。

なお、推薦者は、候補者を推薦するに当たり、過去の受賞者一覧（当記念会ホームページに掲載）を参考に推薦するものとする。

4 推薦手続

本会所定の推薦書（記入は黒色で）正副各1通に次の資料を添付して、本会に提出する。

主要業績リスト（50篇以内） 3通

主要業績別刷（主要業績リストに記載の業績の内5篇以内） 3通

※推薦書及び主要業績リストは片面での印刷とする

5 推薦締切期日

令和8年9月4日（金）

6 選考方法

学識経験者から成る選考委員会を設けて選考し、理事会において受賞者を決定する。なお、必要ある場合は、上記提出資料のほかに、追加資料の提出または説明を求めることがある。

7 受賞者発表及び授賞式の期日

令和9年2月23日（本多光太郎先生誕生日）に公表する。授賞式は5月又は6月。

8 提出書類の送付先、問い合わせ先

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1

東北大学金属材料研究所内

公益財団法人本多記念会

（電話）022-215-2868

ホームページ <http://hondakinenkai.or.jp/>

（推薦書はホームページよりダウンロードすることができます。）

（注）推薦を受けた候補者は、その年度および次の年度にわたって選考の対象とします。

従って令和8年度に新たに推薦された候補者については、令和9年度候補者として再度推薦書の提出は必要はありませんが、令和8年度の推薦以降において、追加すべき顕著な業績または発表や受賞があり加筆が必要な場合は、再提出いただいても結構です。

ただし、「主要業績リスト（50篇以内）」及び「主要業績別刷（主要業績リストに記載の業績の内5篇以内）」を各3通を再度提出してください。

第68回本多記念賞 受賞候補者推薦書

受 付	N o .
	令和 年 月 日

推 薦 者 (代表)		提出月日 令和 年 月 日	
(ふりがな)			
氏 名	印	候補者に対する関係	
職 業			
〒			
所在地		電 話 ()	

[illegible]

受賞の対象となる業績の題目	
---------------	--

受賞の対象となる業績の概要（3,000字程度）

--

--

参 考 事 項（賞・特許など）

本多記念賞受賞者一覧

回	年 月 日	受 賞 者	受 賞 対 象 業 績	選 考 委 員	
				委 員 長	委員数
1	昭34.5.25	村 上 武次郎	鉄鋼の物理冶金学的研究	真 島 正 市	16名
2	35.5.21	茅 誠 司	金属強磁性結晶体に関する研究	齋 藤 省 三	17名
3	36.5.27	小 野 鑑 正	金属の疲労の研究並びにその実地応用面の開拓	山 田 良之助	17名
4	37.5.10	増 本 量	強磁性金属及び合金の異常性の研究	茅 誠 司	17名
5	38.6.1	西 村 秀 雄	アルミニウム三元素合金平衡状態図の系統的研究	武 藤 俊之助	17名
6	39.5.16	武 井 武	OP 磁石の発明及びその応用	武 藤 俊之助	17名
7	40.5.8	廣 根 徳太郎	金属電子論及び統計力学に基づく金属合金の理論並びに化合物磁性の研究	多賀谷 正 義	17名
8	41.5.7	的 場 幸 雄	製鋼反応の物理化学的研究	佐 野 幸 吉	17名
9	42.5.13	三 島 徳 七	MK 磁石の研究及び発明	吾 妻 潔	17名
10	43.5.11	澤 村 宏	鉄鋼の物理化学的研究並びに鋳鉄の研究	関 口 春次郎	13名
11	44.5.9	藤 原 武 夫	特定の結晶方位をもつ金属単結晶の製作法の創案と結晶異方性に関する研究並びに新しいX線ラウエ回折法の創案とその応用	澤 村 宏	11名
12	46.6.4	佐 藤 知 雄	鉄鋼中の炭化物に関する研究	廣 根 徳太郎	11名
13	47.5.23	西 山 善 次	マルテンサイト変態の結晶学的研究	山 田 良之助	11名
14	48.5.22	関 口 春次郎	鋼材の溶接に関する研究	岡 田 實	11名
15	49.5.16	五十嵐 勇	強力アルミニウム合金の研究開発	石 田 四 郎	11名
16	50.5.9	佐 野 幸 吉	鉄鋼製錬の化学冶金学的研究	五 弓 勇 雄	11名
17	51.5.24	岡 田 實	溶接冶金学の確立とプラズマ熱加工分野の開拓	白 川 勇 記	11名
18	52.5.19	今 井 勇之進	鋼の合金元素としての窒素の作用	佐 野 幸 吉	13名
19	53.5.18	作 井 誠 太	金属材料の衝撃変形に関する研究	的 場 幸 雄	13名
20	54.5.17	木 原 博	溶接構造用高張力鋼および低温用鋼の溶接性ならびにぜい性破壊特性に関する研究	佐 野 幸 吉	7名
21	55.5.12	白 川 勇 記	金属・合金の磁性研究と新磁性材料の開発に関する業績	廣 根 徳太郎	7名
22	56.5.8	五 弓 勇 雄	金属塑性加工に関する基礎的研究とその応用	田 中 良 平	7名
23	57.5.24	橋 口 隆 吉	金属工学における格子欠陥の研究	村 上 陽太郎	7名
24	58.5.9	竹 内 榮	金属の統計熱力学的研究	神 田 英 藏	7名
25	59.5.14	不 破 祐	鉄鋼製錬の物理化学的研究	幸 田 成 康	7名
26	60.5.20	村 上 陽太郎	非鉄金属材料の金属組織学的研究	辛 島 誠 一	7名
27	61.5.12	鈴 木 平	金属および合金の結晶の強度に関する研究	井 垣 謙 三	7名
28	62.5.21	鈴 木 秀 次	金属中の転位と格子欠陥に関する先駆的研究	小 島 浩	7名

回	年 月 日	受 賞 者	受 賞 対 象 業 績	選 考 委 員	
				委 員 長	委員数
29	63.5.18	盛 利 貞	鉄冶金物理化学の研究	加 藤 榮 一	7名
30	平 元.5.17	高 村 仁 一	材料科学への格子欠陥的立場からの貢献	中 川 龍 一	7名
31	2.5.9	久 松 敬 弘	金属材料の耐食性の向上に関する研究	藤 田 英 一	7名
32	3.5.15	近 角 聰 信	強磁性体の物性と応用に関する研究	小 松 登	7名
33	4.5.13	増 本 健	アモルファス金属の材料学的研究	長 倉 繁 麿	9名
34	5.5.19	堂 山 昌 男	金属結晶欠陥の研究	竹 内 伸	7名
35	6.5.18	守 谷 亨	金属磁性の理論的研究	明 石 和 夫	9名
36	7.5.17	橋 本 初次郎	電子回折顕微鏡法による金属および結晶性材料の研究	石 野 栞	9名
37	8.5.15	清 水 謙 一	マルテンサイト変態など各種相変態ならびに形状記憶効果と超弾性に関する先駆的研究	笛 木 和 雄	9名
38	9.5.14	平 林 眞	無機材料の結晶構造と相変態および欠陥構造に関する研究	江 見 俊 彦	9名
39	10.5.13	西 澤 泰 二	材料組織の設計・制御に関する熱力学的研究	小 川 恵 一	9名
40	11.5.14	金 森 順次郎	遷移金属磁性の研究	小 岩 昌 宏	9名
41	12.5.10	藤 田 英 一	格子欠陥を中心とする金属物理分野における先駆的研究	南 雲 道 彦	9名
42	13.5.11	前 田 弘	Bi系酸化物高温超伝導材料の発見及び開発	平 賀 賢 二	8名
43	14.5.10	佐 野 信 雄	鉄鋼製錬反応の熱力学および速度論的研究	入戸野 修	9名
44	15.5.9	佐 川 眞 人	超強力ネオジム・鉄・ボロン永久磁石の発明と工業化	井 野 博 満	10名
45	16.5.14	鈴 木 謙 爾	パルス中性子散乱による液体ならびにアモルファス金属の構造に関する研究	三 島 良 直	8名
46	17.5.13	平 井 敏 雄	セラミック・ナノ・コンポジットおよび傾斜機能材料に関する研究	小 岩 昌 宏	7名
47	18.5.12	岸 輝 雄	材料の非破壊評価に関する研究	山 本 雅 彦	7名
48	19.5.11	新 庄 輝 也	金属人工格子研究分野の創始	小 島 陽	7名
49	20.5.9	藤 森 啓 安	アモルファス・ナノ特殊構造物質の磁性の研究	水 谷 宇一郎	7名
50	21.5.8	竹 内 伸	固体の塑性変形機構に関する研究	坂 公 恭	7名
51	22.5.14	早稲田 嘉 夫	ランダム系物質の微視的構造解明及び X 線異常散乱を利用する新しい構造解析法の開発と材料工学への応用	猪 俣 浩一郎	7名
52	23.7.1	坂 公 恭	透過型電子顕微鏡による無機材料の微細構造とプロセスングのキャラクタリゼーション	田 村 剛三郎	7名
53	24.5.30	佐久間 健 人	セラミック材料の物性に関する研究	細 谷 佳 弘	5名
54	25.5.31	細 野 秀 雄	透明酸化物の新機能開拓と応用展開に関する先駆的研究	栗 倉 泰 弘	7名
55	26.5.29	十 倉 好 紀	遷移金属酸化物における強相関電子機能の開拓	幾 原 雄 一	6名

回	年 月 日	受 賞 者	受 賞 対 象 業 績	選 考 委 員	
				委 員 長	委員数
56	27.5.29	宮 崎 修 一	チタン系形状記憶合金の研究と開発	新 家 光 雄	9名
57	28.5.27	村 上 正 紀	次世代電子デバイス用の高機能金属電極材料の創製	石 田 清 仁	10名
58	29.5.29	石 田 清 仁	合金状態図と組織制御に関する基礎及び応用研究	掛 下 知 行	12名
59	30.5.29	深 道 和 明	先進磁性機能材料の基礎から応用への展開	松 宮 徹	10名
60	令 元.5.31	新 家 光 雄	生体硬組織機能材料の研究開発	小野寺 秀 博	10名
61	2.11.6	宝 野 和 博	ナノ構造制御による先進金属材料の開発	小野寺 秀 博	10名
62	3.11.26	永 長 直 人	金属磁性体における量子輸送現象の理論研究	白 井 泰 治	10名
63	4.5.27	花 田 修 治	先進構造材料の高機能化に関する研究	東 健 司	10名
64	5.5.26	前 川 禎 通	磁性と伝導及びスピンエレクトロニクスの基礎的研究	東 健 司	10名
65	6.5.24	三 島 良 直	金属系構造材料の学理探求と合金開発	木 村 薫	10名
66	7.6.5	小 池 淳 一	金属工学に基づく超微細薄膜配線の研究開発	津 崎 兼 彰	10名
67	8.6.4	堀 田 善 治	巨大ひずみ加工による組織・構造制御と材料開拓	辻 伸 泰	10名

注 昭和45年度は、本多先生生誕百周年記念式典が行われたので、本多記念賞の贈呈は、取りやめとなった。